

さくら健康まつりに参加しました

2019年11月16日、イオンタウンユーカリが丘で行われたさくら健康まつりに参加いたしました。昨年に続き、2回目の参加となります。

佐倉市（健康増進課）、東邦佐倉病院様、聖隷佐倉市民病院様、中外製薬様、イオンタウン様を始め、今年からは薬剤師会様やタカゾノ産業様も参加し、盛大なまつりとなりました。

当社から、アイハート（血管年齢測定）、骨ウェーブ（骨強度）、アストリム（ヘモグロビン）、AGEsセンター（老化物質）を用意し、アイハートの計測ブースを担当しました。計測人数は約200名でした。

子ども薬剤師体験
みんなとっても喜んで
おりました！



途中、佐倉氏の西田市長も参加され、AGEsセンサーやアストリムをご利用されました。

薬剤師会様からは、来年薬剤師会が出店するおまつりに骨ウェーブをレンタルしたい、と予約を頂きました。

また、ワンポイントセミナー講師の東邦佐倉病院整形外科の中川教授からは、「アイハート面白いね」とご評価いただきました。



中外製薬様とは強力な連携を取ることができました！



ピア～まちをつなぐもの～

11月24日（日）ケアノン千葉応援団「ピア」上映実行委員会主催の『ピア』の上映会とトークセッションが東京情報大学メディアホールで行われました。NPO法人地域の医療を明るくする会が共催、岩瀬薬品が後援しており、受付や当日の会場整理等をお手伝いさせていただきました。

この映画では、若手医師とベテランケアマネジャーの二人の成長物語を中心に、医療介護関係の多職種や地域住民、行政がチームとして連携しながら、在宅医療と介護、看取りを懸命に取り組む姿を描いています。

当日は医療介護関係者だけでなく、地域住民の方々もご参加頂き、約170名がご来場されました。

上映会とトークセッションを通じて、市民の皆さんの「最期は住み慣れた我が家で」という希望を全て叶えられない現実を考えつつ、医療介護者がどのような気持ちで在宅介護を支えているかを感じ取っていただけたと思います。

映画の多職種連携の中に【医薬品卸】という職はありませんでしたが、今後、関連職種また社会の一員として何か出来る事が無いか、と考える良い機会となりました。

ぜひ、皆さんに見て頂きたい映画です。

2020年診療報酬改定基本方針にも
◆地域包括ケアシステム推進の為に他職種連携・協働の取り組み推進
が盛り込まれております (11/30情報より)

